

## IDCコンテンツ引用手続きおよびガイドライン

IDC Japan株式会社  
リサーチバイスプレジデント  
寄藤 幸治

貴社、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、IDCのコンテンツ(データ、文章、図表他)の引用手続きおよびガイドラインを改訂し、以下にご案内させていただきます。内容をご確認いただき、弊社「市場調査データ」を有効にご活用いただければと存じます。

### ■引用とは

弊社発表のレポートおよびデータから一部を切り取り、貴社作成の資料に活用すること全般を指します。IDCでは引用を「社内引用」「社外引用」に分け、「社外引用」については事前に弊社の承諾をお取りいただくようお願いしております。

#### 社内引用の例)

中期計画を作成する  
市場勉強会の資料を作成する 等

#### 社外引用の例)

プレスリリースで「市場シェアNo.1」を発表する  
顧客向け資料や製品カタログに「市場シェアNo.1」を掲載する  
セミナーのプレゼンテーションスライドに市場状況を掲載する  
決算資料に市場状況や自社ポジションを掲載する 等

### 【社内引用】

貴社内におけるIDCコンテンツの引用については、申請をしていただく必要はありませんが、出典を必ず明記して下さい。出典の表記法につきましては、本文「4.」をご参照ください。

### 【社外引用】

IDCのコンテンツを社外向けに引用する場合には、事前に弊社による承諾が必要です。社外での引用には、以下に挙げる例のほか、あらゆる方法による公開を含みます:

- 広告(Web広告を含む)、プレスリリース
- 社外でのプレゼンテーション、メディア向け情報、提案書、会議資料、レポート
- 販促用の資料、カタログ類、御社Webサイト
- ブログ、ソーシャルメディアへのポスティング、および他のオンラインサービス 等

## 1. 引用対象コンテンツ

1) 社外引用いただけるコンテンツは以下の通りです。

- IDC.comに掲載されている調査報告書、四半期・半期のデータベース製品(Tracker、QViews、など)／データベース製品からのデータカット
- マルチクライアント調査
- ホワイトペーパー
- IDC主催カンファレンス講演資料(弊社ホームページに掲載されているカンファレンス)
- IDC.comおよびIDC Japanのホームページに掲載されているプレスリリース

※いずれも最新のデータに限ります。特に市場シェア、予測データについてはご注意ください。

※IDC.comに掲載されている期間は原則としてレポート発行から18か月となります。

2) Executive Graphics\*の社外引用

Executive Graphicsは、引用元レポートのレポートタイプや用途により社外向け利用の条件が異なります。表1をご参照ください。

また次の点にご注意ください。

- 引用いただけるデータはご契約範囲内とさせていただきます。ライブラリで閲覧されたデータやインクワイアリでご提供したデータは対象外となります。
- 裁判にかかわる書類には引用いただけません。
- プレスリリース内ではIDCのレポート、データに基づくグラフを利用いただくことはできません。

## 2. 申請から承諾までの流れ

### 1) 申請(お客様\*)

弊社指定の「データ引用申請書」に必要事項をご記入の上、引用原稿(ドラフト可)を添付して、Eメールにて本文末記載のデータ引用申請窓口(マーケティング担当)宛てにご送付ください。

\*プレスリリース等の公開データ以外の引用については、当該レポート/データをご契約しているご契約元企業様より引用の申請をお願いいたします。

- ① Tracker/QMAデータの引用につきましては「データ引用申請書」にサービスタイトル、地域、期間、製品セグメンテーションを明記いただき、その条件で抽出したデータを添付してください。
- ② 調査レポートからの引用につきましては「データ引用申請書」にレポートの名称、レポート番号、テーブル番号を漏れなくご記入ください。複数のレポートからの引用時は特にご留意をお願いいたします。
- ③ プレスリリースからの引用につきましては、「データ引用申請書」にプレスリリースの発表日およびプレスリリースのタイトルをご記入ください。※海外で発表したプレスリリースの場合も同様となります。
- ④ 弊社海外窓口ですでに承諾をとられた資料を日本で利用される際は、引用される資料を添えてその旨ご連絡ください。(IDC MarketScapeからの引用を除き、IDC Japanに改めて引用申請いただく必要はございません。)
- ⑤ 作成された資料を海外で利用される場合は、申請の際にその旨をご連絡ください。なお承諾後に海外での利用が決まった場合は、どの資料をどの国・地域で利用されるのかをご連絡ください(いずれの場合も、利用される国・地域で改めて申請いただく必要はございません)。

### 2) 内容確認(IDC)

お送りいただきました原稿について、レポートを執筆したアナリストが内容(市場セグメント、期間、表現等)を確認させていただきます。

- ① 目的や内容によりましては、引用の承諾をいたしかねる場合がございますことを、予めご了承ください。
- ② 海外で発表しているデータについては、現地の承諾が必要になります。

### 3) 承諾(IDC)

内容に問題がなければ、承諾をお知らせするメールをお送りいたします。

- ① 上記プロセスの正確性を期するため、申請当日または翌日の承諾のご要望には応じかねますので、ご了承ください。
- ② ご申請いただいてからEメールによる承諾のお知らせまでに要する日数は、申請日を含み、国内著作物の場合は3営業日、海外の場合は5営業日を目安にご準備ください。複数のレポートからの引用、または分野が2つ以上にわたる場合は、さらにお時間をいただく場合がございます。なお、15時以降のご申請は翌営業日受付の扱いとさせていただきます。

## 3. 利用期間

### 1) 申請の際は、必ずデータを利用される期間を明記して下さい。

※「利用期間」とは作成された社外向け資料が公開される期間を指します。

### 2) 利用期間は原則として、申請される市場データが更新されるまでとなります。

例: PC市場 第2四半期(Q2、4-6月)の場合は、Q3データが公表される11月末までとなります。

### 3) 年間データ(1-12月)および複数年にまたがる場合でも、更新データが発表されるまでとなります。なお、最新データでシェアランキングが変わった場合、過去のランキングは引用できません。

例: PC市場 2014年暦年のシェア

2014Q4、2015Q1、2015Q2…と各四半期のデータが発表都度、出典を更新して申請をお

願います。

例：2013年暦年でシェア1位で、2014年暦年でシェア1位でなかった場合  
2013年暦年のシェア1位のみでは引用いただけません。

- 4) 学術論文など、申請から公開までに時間がかかる場合は、データ有効期間内にIDCの承諾をおとりください。原稿に出典を明記いただき、かつ承諾した内容から一切変更しないことを前提に、データ有効期間後もご利用いただいて差し支えございません。

#### 4. 出典表記

引用にあたっては、必ず出典および転載禁止の旨を明記して下さい。出典の記載方法は以下をご参照下さい。なお、Tracker、QMAは、申請時点で最新のデータを出典として記載して下さい。

- 1) 2015年7月発行のレポート「国内製品別IT市場 2015年第1四半期までの実績と2015年～2019年の予測」(J15110302)から引用する場合
  - Source: IDC Japan, July 2015「Japan IT Spending Patterns 2015-2019 Forecast and 1Q15 Review」(J15110302)
  - 出典: IDC Japan, 2015年7月「国内製品別IT市場 2015年第1四半期までの実績と2015年～2019年の予測」(J15110302)
- 2) 2015年第2四半期のWorldwide Quarterly PC Tracker、Japan Quarterly Server Trackerから引用する場合
  - Source: IDC's Worldwide Quarterly PC Tracker 2015Q2
  - 出典: IDC Japan, Japan Quarterly Server Trackers 2015Q2

※Trackerからの引用においてシェア No.1を記載する場合は出典表記にShare By Company、Share By Vendor、Share By Brandのいずれかを追記ください。
- 3) プレスリリースから引用する場合
  - 出典: IDC Japanプレスリリース「(プレスリリースのタイトル)」(発表年月日)
- 4) ホワイトペーパーから引用する場合
  - 出典: IDC White Paper「ホワイトペーパーのタイトル」 Sponsored by ○○○○(企業名) 発行年月

#### 5. 資料作成の注意事項

- 1) 市場規模および予測データを掲載したテーブル(表)の引用はできません。グラフ化してのご利用をお願いします。
- 2) 文章、グラフ内に記載するデータは、実数ではなく丸めて(千台、億円など)ご利用ください。
- 3) データのセグメンテーションは、原則フォームファクターまでとなります。
- 4) Trackerデータを引用される際、複数のブランドや製品モデル間で、ブランドや製品モデルを追加/削除する操作をして算出されたシェアは承認いたしません。
- 5) 四半期・半期データは、組み合わせて引用することができます。  
例) 4-3月(Q2～翌年Q1)等、年度でのデータ

※広告(Web広告を含む)、プレスリリースにご利用で、マーケットシェアおよびランキングを掲載される場合、貴社以外の社名はA社、B社、C社、...と表記して下さい。(イニシャルでの表記もお控えください。)

#### 6. ブログ、ソーシャルメディアへのポスティング、および他のオンラインサービスへの引用

- 1) IDCブランドをブログ、Facebook、LinkedIn、Twitter、Wikipedia、およびYouTubeをはじめ、あらゆるウェブ2.0とソーシャルメディアにおいて引用する場合は、以下のガイドラインに従ってください。
  - ① 「IDC」を弊社の事前の承諾を得ずにFacebookページやLinkedInグループの名前、Twitterのハンドルまたはハッシュタグ(IDCアナリストのツイートなど、IDCが許可したツイートをリツイートする場合を除く)に使用することはできません。  
例) 事前承認が必要な例: 「IDC Japanをフォローする目的で、IDC\_FunclubというTwitterのハンドル名を登録したい」

2) IDCが提供する情報をブログ、Facebook、LinkedIn、Twitter、Wikipedia、およびYouTubeをはじめ、あらゆるウェブ2.0とソーシャルメディアにおいて引用する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

① IDCから一般ユーザーに公表されている内容の引用およびコメント

IDCの発表(IDCのプレスリリース、IDC法人アカウントのハンドル(@idc)からのツイート、またはIDCが許可したアナリストや担当者により公表されたものなど)に関するコメントや当該ドキュメントへのリンクについては、IDCの事前承諾は不要です。

例) 事前承諾が不要な例:「TwitterでIDC Japanのつぶやきをリツイートしたりコメントする」

② IDCから一般ユーザーに公表されていない内容の引用およびコメント

①以外のIDCから公表されていない内容、例えばIDCから最新のServer Trackerデータや、CISレポートのプレスリリースにて一般または市場に公表されていない内容のツイートについては、IDCの事前承諾が必要です。

例) 事前承諾が必要な例:「XYZ社が国内ハイエンドサーバー市場で5年連続出荷金額でNo.1になっている」

7. 製品別注意事項

1) CISレポート、スペシャルレポート、プレスリリース

最新のレポートおよびプレスリリースをご利用ください。なお発行から一年以上経過し、更新版レポートが発行されていない分野のデータ引用については、引用可否およびご利用いただける期間をIDCが判断いたしますので、お問い合わせください。

なお「IDC MarketScope」の引用には、別途ご契約が必要な場合がございます。恐れ入りますが、担当営業にお問い合わせください。

2) Trackerデータ

「資料作成の注意事項」にも記載いたしましたが、データのセグメンテーションは、原則フォームファクターまでとなります。また複数のブランドや製品モデル間で、ブランドや製品モデルを追加/削除する操作をして算出されたシェアは承認いたしません。

3) マルチクライアント調査

レポート発行から60日間のエンバーゴ期間(社外公開禁止期間)を設定しております。社外への引用は、エンバーゴ期間が終了してからとなります。※エンバーゴ期間内でも貴社内ではご利用いただけます。

4) カスタム調査

社外引用の対象外となります。※貴社内ではご利用いただけます。

5) ホワイトペーパー、GMSレポート、Technology Spotlightなど

引用対象となりますので、CISレポート同様、引用申請をお願いいたします。

6) Executive Graphicsとは表1に掲げるレポートタイプの調査レポートのトップページに掲載されるFigureを指します。

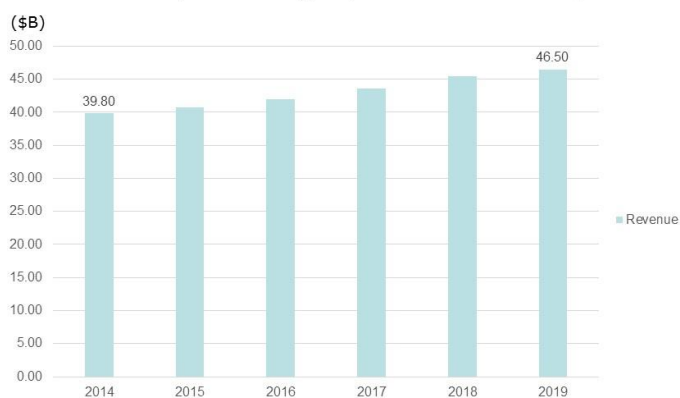
表1 Executive Graphicsの引用

レポートタイプ	外部向け引用 (プレスリリース用途を除く)	プレスリリースへの引用
Market Forecast	簡易版グラフは引用可。 簡易版グラフは図1を参照	不可。 グラフではなく、いくつかの予測データを引用することは可能。
Market Share	可	不可 レポートのデータを引用することは可能。
IDC DecisionScapes (IDC MarketScopeを除く)	可 付随する文言については軸と凡例の説明程度に制限される。ただし、FutureScopeは、	可 付随する文言については軸と凡例の説明程度に制限される。

	プレゼンテーション目的の利用において、Top 10 Predictions の引用が可能。その場合、Executive Graphic と Predictions のページを分けること。(同一ページでの引用は不可)	
IDC MarketScape	Excerpt およびグラフィックの購入により引用可。	不可

図1 簡易版グラフ

Worldwide Enterprise Storage Systems Revenue Snapshot



Source: IDC, Worldwide and U.S. Enterprise Storage Systems Forecast Update, 2015-2019, #US40560715

セグメント別の表示はせずトータルの値だけを用いて作成したグラフ。対象期間の最初の年と最後の年のみ、トータルの数値を表記することができる。

■本件に関するお問合せ先  
 IDC Japan 株式会社  
 マーケティング 寺田  
 jp-permissions@idcjapan.co.jp

以上